



内子町国際交流協会設立20周年記念行事

内子町国際交流協会は設立20周年記念式典を11月29日、内子座で開きました。式典では同協会設立に尽力した人たちの功労者表彰や、長年にわたり協会活動に協力している人々に対して感謝状の贈呈を行いました。

続いて開いたシンポジウムでは、基調報告で20年の歩みを振り返った後、「内子町の国際交流～今後に向けての展望～」をテーマにパネルディスカッションを行いました。約200人が参加した会場の意見を交えながら、内子町の国際交流について共に語りました。

シンポジウムに参加した青少年海外派遣事業の派遣団OBの一人は「記念事業で20年の歴史に触れることができた。協会設立に尽力した人をはじめ、海外派遣の企画などにボランティアで参加している国際交流プランナーの人など、内子には子どもたちの将来のことを考えてくれる大人がたくさんいることを知れて良かった。自分も国際交流協会の活動に積極的に参加したい」と感想を語ってくれました。

内子自治センターで行った交流会にも、たくさんの町民の皆さんが参加しました。英語劇団SEEDSのメンバーが再会を祝して記念撮影をしたり、外国語指導助手(ALT)のステーブンさんが活動に参加している廿日市獅子舞保存会が獅子舞を披露したりするなど、和やかなムードで交流を深めました。



1_功労者表彰を受けた皆さん 2_シンポジウムで内子町の国際交流について語るパネリストの皆さん 3_青年海外派遣団のOB・OGなど約200人が参加し、パネラーの皆さんの話に耳を傾けていた 4_英語劇団SEEDSの皆さん。指導者のバントック先生と一緒に記念撮影